

常磐自動車道 土浦スマート I C 土質地質調査

特記仕様書

令和 7 年 5 月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社 関 東 支 社
つ く ば 工 事 事 務 所

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 常磐自動車道 土浦スマートIC土質地質調査

1-1-2 路線名 常磐自動車道

1-1-3 履行箇所

自) 茨城県つくば市吉瀬 (STA273+70)

至) 茨城県土浦市飯田 (STA279+80)

1-1-4 主な履行内容

履行内容		数量	単位
調査業務	調査ボーリング	47.8	m
	標準貫入試験	47	回
	報告書作成	1	式
	準備及び跡片付け	1	式
	足場仮設	2	箇所
	調査孔閉塞	2	箇所
	機械等運搬	1	式
	国土地盤情報データベース検定	1	式
技術業務	実施調査計画	1.7	km
	調査総合解析	1.7	km
	調査ボーリング解析	47.8	m
	打合せ	1	式

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

(2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

（３）完了時は、完了届提出日の翌日から１５日以内

また、登録機開発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が１５日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

１－４ 履行期間

本業務は、共通仕様書１－１３「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から１０日以内に、履行期間通知書（様式－１）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から６０日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から１５０日間（まで）

１－５ 資料の貸与

共通仕様書１－１５－１及び５－２－３「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査業務名	貸与予定日	備考
常磐自動車道 完成図	－	契約締結の日の翌日より７日以内	電子データ
管理用平面図	－	契約締結の日の翌日より７日以内	電子データ
既往成果品（土浦市）	スマートインターチェンジ設置検討 調査業務委託	契約締結の日の翌日より７日以内	電子データ
既往成果品（土浦市）	スマートインターチェンジ地質調査 業務委託	契約締結の日の翌日より７日以内	電子データ
現況測量成果	常磐自動車道 土浦スマートＩＣ路線測量	Ｒ７年１１月	電子データ

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、１２月２９日から翌年１月３日まで、夏期休暇（３日）を除く。

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す、隣接又は関連の業務については、下記のとおりである。

なお、履行期間中に関連調査等業務が増加した場合は、監督員の指示によるものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
常磐自動車道 土浦スマート IC 路線測量	2025年4月10日～ 2025年12月5日	MOG コンサルタ ント株式会社	東日本高速 道路（株）	成果品の使用
市道部 測量	2025年1月29日～ 2025年11月30日	三展ミネコンサル タント株式会社	土浦市	成果品の使用
常磐自動車道 土浦スマート IC 詳細設計（仮称）	未定	未定	東日本高速 道路（株）	

1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

（1）道路関係

位置	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
土質調査位置	土浦市	交通規制条件確認	未定

1-8 計画工程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式-2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	工種	備考
土質地質調査	実施調査計画	
	調査ボーリング	各地点
	標準貫入試験	各地点
	調査ボーリング解析	各地点
	調査総合解析	
	報告書作成	

1－8－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－1 0 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1－1 1 成果品

共通仕様書 1－4 6－1 「成果品」によらず下記の通りとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね 3 0 日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。
- (4) 報告書の表紙は黒色とし、金文字製本とする。なお、成果品は下記のとおり作成するものとする。報告書及び図面の電子データについては、監督員に提出するものの他にそれぞれ 1 部を監督員の指示に従って、N E X C O 総研技術情報課へ提出し、N E X C O 総研の発行する成果品（電子データ）受領票の交付を受けなければならない。

なお、N E X C O 総研技術情報課への提出は郵送で行うものとし、成果品（電子データ）受領票

については、NEXCO総研より電子メールにより受注者へ送付されるものとする。

項目	監督員	NEXCO総研	備考
報告書（紙）	2部	－	土浦市（1部）を含む
報告書（電子データ）	2部	1部	土浦市（1部）を含む
図面（紙）	2部	－	土浦市（1部）を含む
図面（電子データ）	2部	1部	土浦市（1部）を含む 報告書（電子データと併せて提出）

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、常磐自動車道（桜土浦～土浦北IC間）上下線（STA. 273+70～STA. 279+80）に設置する土浦スマートIC（仮称）について、詳細設計を実施するにあたり、土質区分を把握するために実施する土質地質調査である。なお、調査の実施にあたっては、共通仕様書第3章「土質地質調査」を適用する。

2-2 調査ボーリング

2-2-1 調査ボーリング箇所

調査ボーリングは調査位置図に示す箇所で行うものとするが、地形地質踏査結果により調査実施位置を精査しボーリング箇所の見直しが必要であると判断した場合は監督員にこれを報告するものとし、その後の取扱いについては監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-2-2 調査ボーリング区分

調査ボーリング区分は、下表のとおりとする。

種別・規格		単位	数量	コア種別	せん孔深度	せん孔方向
φ 6 6 mm	粘性土・シルト	m	26.1	ノンコア	50m以下	鉛直下方
	砂・砂質土	m	6.5	ノンコア	50m以下	鉛直下方
	礫混じり土砂	m	15.2	ノンコア	50m以下	鉛直下方

2-2-3 調査孔閉塞

調査ボーリング終了後、次に示す箇所においてはボーリング孔をセメントミルク等で閉塞するものとする。

ボーリング番号(参考図)
B-1、B-2

2-2-4 給水

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、給水（車両給水）をしながら行うものとする。なお、本項目については下記項目へ割掛費用として計上する。

工種・名称・細目				
調査ボーリング	粘性土・シルト	φ 6 6 mm	鉛直下方	ノンコアリング
調査ボーリング	砂・砂質土	φ 6 6 mm	鉛直下方	ノンコアリング
調査ボーリング	礫混じり土砂	φ 6 6 mm	鉛直下方	ノンコアリング

2-2-5 調査ボーリングの打ち止め位置

調査ボーリングの打ち止め位置は、監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-3 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め5回とする。打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社つくば工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

2-4 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には土質調査の現場作業に従事する労務員すべての交通費・日当・宿泊費を含むものとし、現地踏査により現場作業の数量に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については別途監督員と協議するものとする。また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・日当・宿泊費についての取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-5 国土地盤情報データベース検定

共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す国土地盤情報データベース検定は、調査ボーリング1本当たりの検定費用を2,000円（ボーリング責任者が地質調査技士の資格を有する場合に限る。）とする。なお、調査ボーリングの数量は2本とし、ボーリング本数の増減及び資格区分の相違に伴う請負代金額の変更は、監督員と受注者との協議し定めるものとする。

また、共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す、登録するボーリングデータの公開区分を下表に示す。

ボーリング名	公開区分	備考
B-1	非公開	
B-2	非公開	

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加について

各関係機関との協議・調整及び現地状況等により設計図書の変更及び追加を実施する場合がある。受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 調査ボーリングを追加する場合がある。
- (2) 調査箇所が舗装部に位置した場合、舗装の撤去・復旧を追加する場合がある。
- (3) 調査ボーリングの結果により、地質縦断図の修正を追加する場合がある。

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 常磐自動車道 土浦スマートＩＣ 土質地質調査

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3-2. 受注者が設定した業務の終期)

